

油縄子学区の特徴 ～ こんな街です

油縄子学区は、日立市のほぼ中央部に位置し、平坦な地形であること、自然災害などが少ないことから、次のような特徴のある街となっています。



■ 文教の街 ■

学区のほぼ中央部には、日立市立油縄子小学校、日立市立多賀中学校、日立市立日立特別支援学校、茨城県立多賀高等学校が集中することから、文教の街といわれています。これらの学校が並ぶ国道6号油縄子十文字から国道245号鮎川T字路までの市道6号全線は、「鮎川学園通り」の名で愛称道路となっています。

また、学区内には、私立諏訪かおる幼稚園、日立市立ゆなご保育園があります。

■ 交通の要衝 ■

中央を国道6号、海側を国道245号が南北に通り、他の県道や市道も縦横に通り、交通の要衝となっていて市内でも交通量の多い学区です。特に大きな交差点としての諏訪五差路、1970年（昭和45年）に設置され国道6号の油縄子歩道橋などが象徴的です。また、日立市の愛称道路として「鮎川学園通り」のほか、「さくら通り」「五石通り」「梅林通り」、古くから親しまれている「大学通り」（中央線）や「旧国道」もあります。

更に、国道6号と国道245号の間を南北にJR常磐線が通っています。

2023年（令和5年）5月、諏訪五差路と国道245号（国分町）を結ぶ都市計画道路鮎川停車場線と接続する市道鮎川町地内道路（JR常磐線沿い）が開通しました。

また、上空は航空機の航路になっており、南北に飛行機が飛んでいます。

■ そして…住みやすい街です ■

■ **工場の街**…日立製作所日立事業所国分生産本部やレゾナック山崎事業所（桜などの大きな工場をはじめ、関連工場や中小の工場も多く、準工業地帯の街でもあります）。

■ **病医院の街**…ひたち医療センターをはじめ多くの病医院やクリニック、歯科医院などが点在している街です。

■ **介護福祉施設の街**…日立市萬春園、シニア健康センターしおさい、地域包括支援センターでもある特別養護老人ホーム鮎川さくら館、ほっと・すわデイサービスセンター、まごころの家鮎川などの老人福祉施設や介護施設もたくさんある街です。

■ **商業施設の街**…昔からの地元の商店や飲食店に加え、大型スーパーマーケットやドラッグストア、コンビニエンスストア、大型家電販売店、大手飲食店チェーンなども複数点在する便利な街でもあります。

■ **住宅地**…昔からの住宅地に加え、最近では日立製作所の社宅やアパート跡地に建てられた家々やマンション、一般の住宅やアパートなどもあり住みやすい街といわれています。

公の施設として、地域活動の拠点油縄子交流センター、日立市の施設日立市女性センター（「らばーるひたち」・元気カフェ併設）や鮎川体育館、日立警察署鮎川町交番もあります。